

式辞

本日第42回となる本校の入学式を迎えることができました。

新入生のみなさん、保護者のみなさま、おめでとうございます。今年の桜はすでに葉桜になってしまいましたが、学校のあちこちには昨年度生徒と保護者のみなさまと地域の方々に植えたチューリップがたくさん咲き誇って、みなさんを迎えてくれたことと思います。

また、来賓のみなさまにおかれましては、ご多忙にもかかわらず出席いただきありがとうございます。ともに新入生を祝福いただき、また今後とも彼らの成長を見守っていただけますよう壇上からではありますが、よろしく願い申しあげます。

さて、あらためて、新入生のみなさん。きっとみなさんは勉強も運動も精一杯頑張ろうと決意あらたにこの日を迎えたことだと思います。その一方で、緊張や不安の入り交じった、複雑な気持ちで座っているのかと思います。でも、心配しすることはありません。学校の先生も上級生のみんなも、みなさんが入学してくるのを心待ちにしていましたし、何よりみなさんはこの学校に必要なことからやってきたのですから。

ちょっと考えてみましょう。みなさんのこれまでの人生の何かひとつが欠けても、ここにいることはありませんでした。例えば、今までうれしかったことはもちろん、苦しかったことも悲しかったことも、どんな小さなことも何か一つでもなかったら今のみんなはつくられていないし、ここにはいなかったのです。つまり、この入学式も今のように始まらなかったのです。誰か一人でも欠けていたら、パズルのピースが変わるように、全く違うものになっていたかもしれない。だからみんながこうしてここにたどり着いて、こうやってこの時間が壊れなかったことを本当によかったなあと思っているのです。みんなは来るべき人たちだった、だから心か楽しみにしていたのです。同じように、私のこれまでの人生の何かひとつが違っていても、私がここに立っていることはなかったでしょう。そうやって考えるとここにいるすべての人々のこれまでの出来事がこうして出会うためにあったのだと言えますよね。

だとしたら、これから先の世界はみんなの毎日の行動やことばで変えられることになりますよね。一つひとつのことばや行動にそれほどの重みがあることを忘れず自分の頭でしっかり考え、自分自身に誇りをもって行動し、中学校生活を過ごしてください。そしてみなさんと同様にこの世界を作っている周りの人々を大切にしていきましょう。そうすればみんなの居場所があたたかくなり、心の底から自分の人生に感謝できることが増えると思います。ぜひ覚えておい

てください。

さて、あらためまして、保護者のみなさま、本日より3年間、みなさまの大切なお子さまを本校で預かり、みなさまとともに育ていけることを光栄に思っております。本校は、学校説明会でもお話しましたとおり、「ふたつのじりつ」を学校全体の取り組みの柱としております。自分で自分をコントロールするという自律、自分でできることは自分で行い、一人でしっかりと立つという自立、このふたつのじりつを達成できる生徒像をめざして、今年度も全校体制で取り組んでいきます。

では最後に、ここにいるすべての人々の今までの人生に感謝して、式辞いたします。

平成30年4月9日

島本町立第二中学校校長 西田敦子